

1

地域の経済動向

1. 地域経済循環図

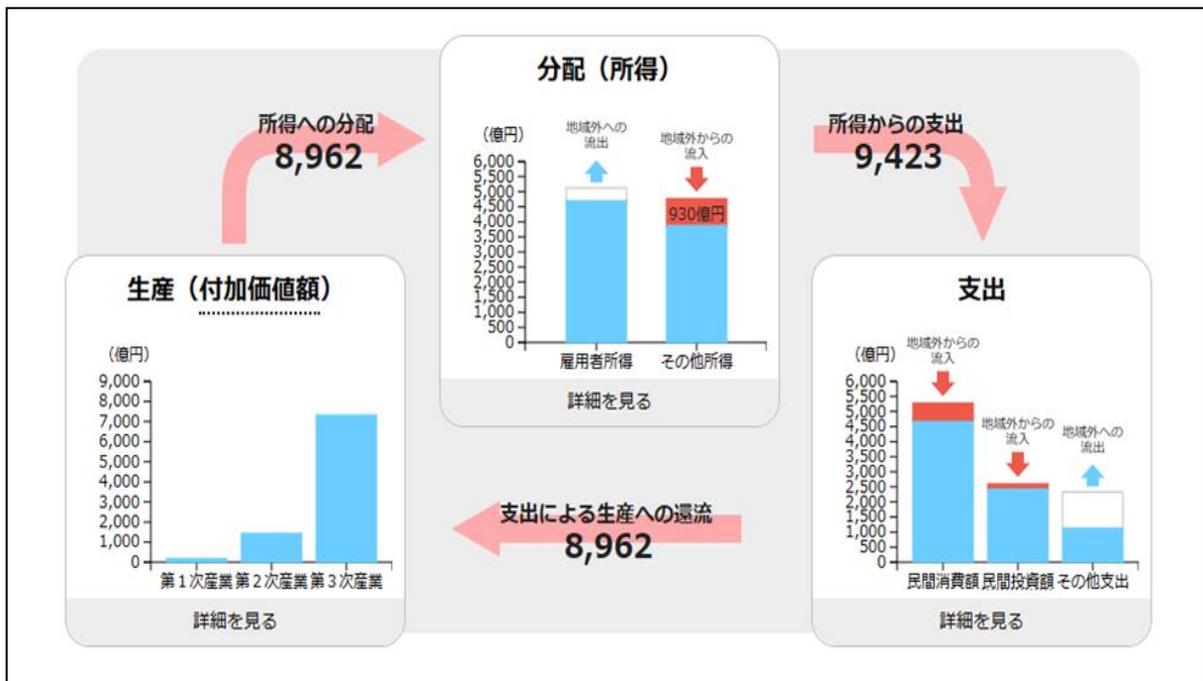
地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値額は労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する流れとなっています。この流れを示したものが地域経済循環図です。

佐賀市の企業は合計 8,962 億円の付加価値を生み出しています。

そして、付加価値のうち、支出に回されるのは 9,423 億円です。市外からの流入があるので付加価値額を超えています。

支出による生産への還流は 8,962 億円です。

佐賀市地域経済循環図



※RESAS 操作 地域経済循環マップ→地域経済循環図

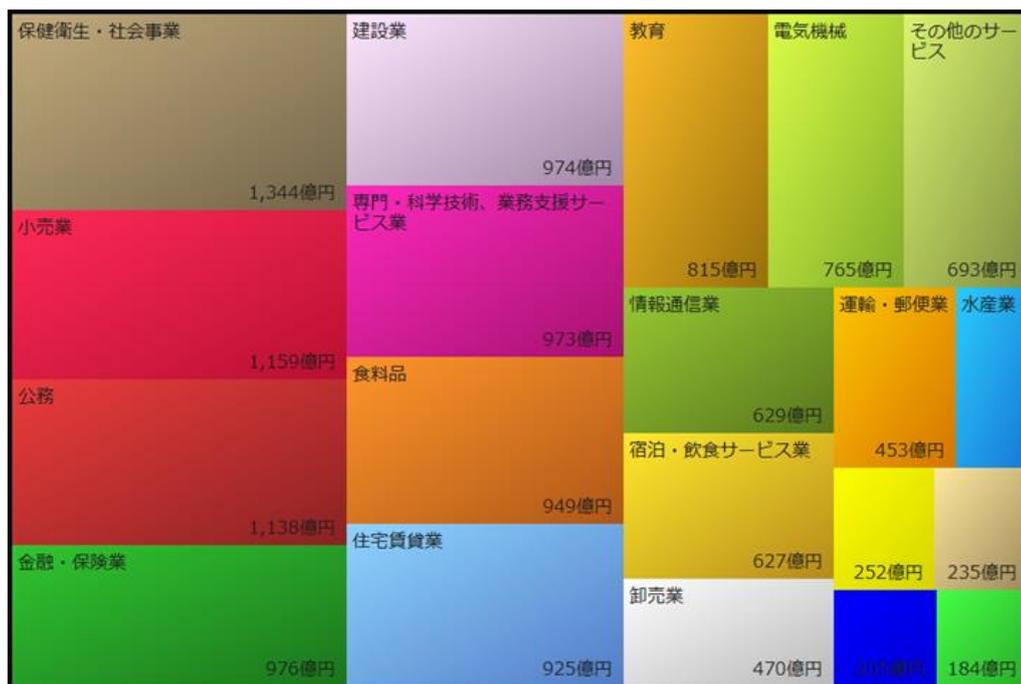
付加価値額とは
 企業などの生産活動によって生み出された価値で生産額から原材料などの費用を差し引いて算出されます。
 付加価値額=売上高-費用総額(売上原価+販管費・一般管理費)+給与+租税公課

2. 生産分析

地域内企業の業種別生産額を面の大きさで表したグラフです。2018年総額では15,066億円となっています。

生産額が大きいのは、「保健衛生・社会事業(医療・保健、介護など)」1,344億円、「小売業」1,159億円、「公務」1,138億円などとなっています。

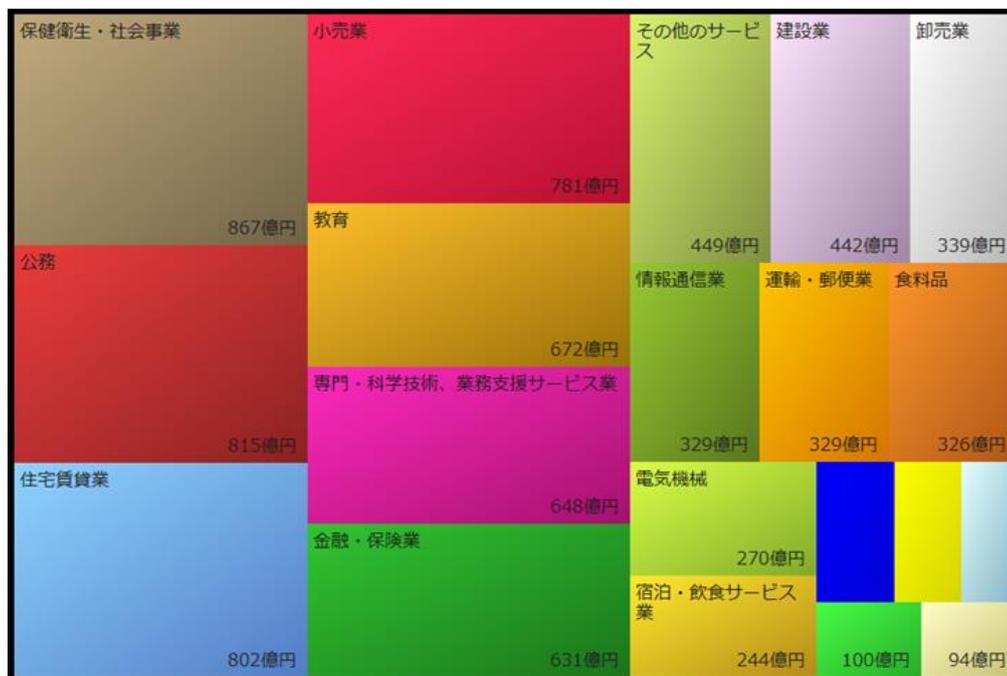
佐賀市内企業生産額



※RESAS 操作 地域経済循環マップ→生産分析→生産額

地域内企業の業種別生産付加価値額でみると、2018年総額では8,962億円で、付加価値額が大きい業種は、「保健衛生・社会事業」867億円、「公務」815億円、「住宅賃貸業」802億円などとなっています。

佐賀市内企業生産付加価値額

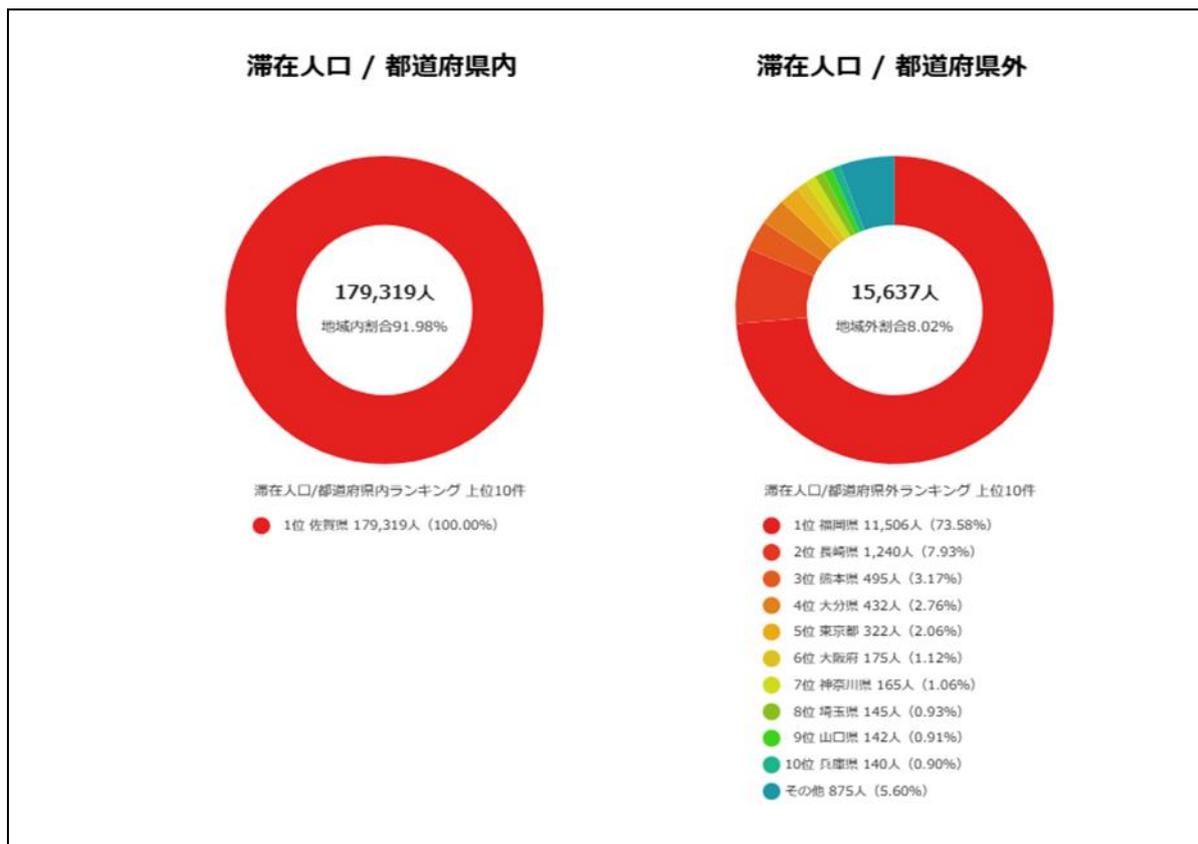


※RESAS 操作 地域経済循環マップ→生産分析→付加価値額

1. 滞在人口

昼間の佐賀市の滞在人口は 194,956 人であり、滞在人口率は 1.13 倍です。佐賀県内の方が 179,319 人、佐賀県外の方が 15,637 人で、県外からは福岡県が最も多くなっています。

佐賀市滞在人口の地域別構成割合
(2022年6月平日14時、15歳以上80歳未満)



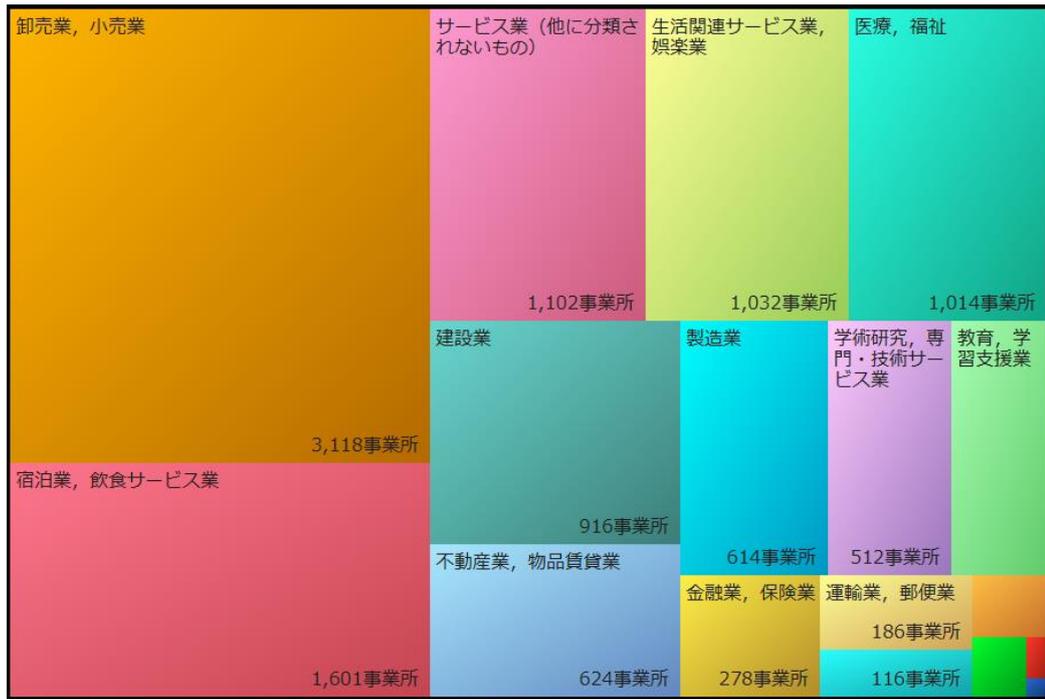
※RESAS 操作 まちづくりマップ→From-to 分析

4. 産業構造

(1) 事業所数

佐賀市の事業所数は2016年現在、11,659事業所となっています。最も多いのは、「卸売業・小売業」3,118事業所で26.7%であり、次いで「宿泊業、飲食サービス業」1,601事業所13.3%と続きます。

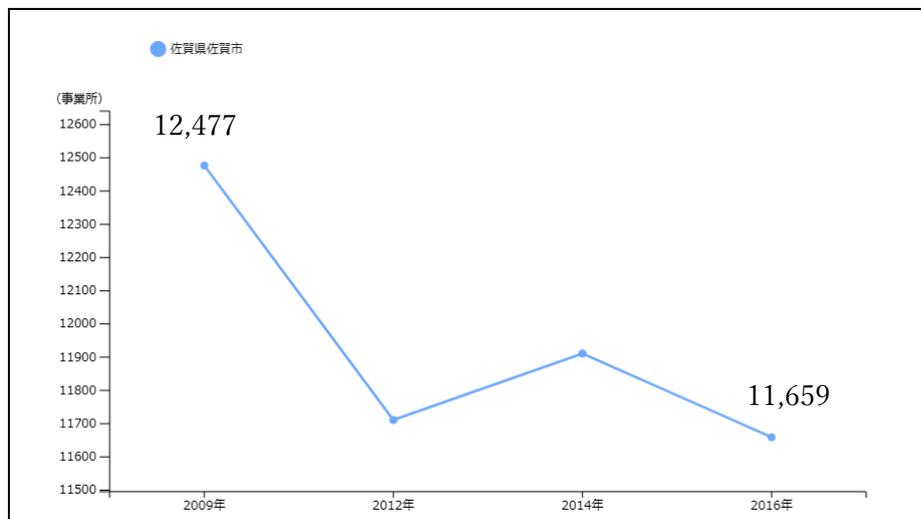
佐賀市の事業所数



※RESAS 操作 産業構造マップ→全産業→全産業の構造

事業所の推移をみると7年前の2009年12,477事業所と比較して2016年では6.6%減となっています。

佐賀市の事業所数の推移

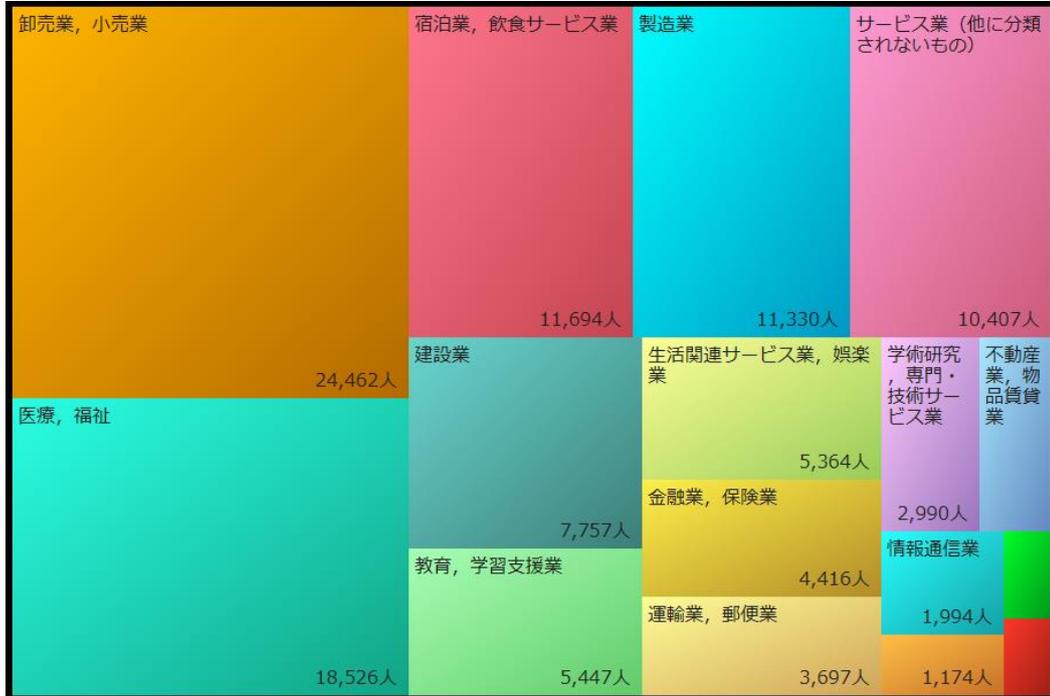


※RESAS 操作 4 産業構造マップ→全産業→事業所数

(2) 従業者数

従業者数は 2016 年現在、112,747 人となっています。最も多いのは、「卸売業・小売業」24,462 人で 21.7%であり、次いで「医療・福祉」18,526 人 16.4%と続きます。

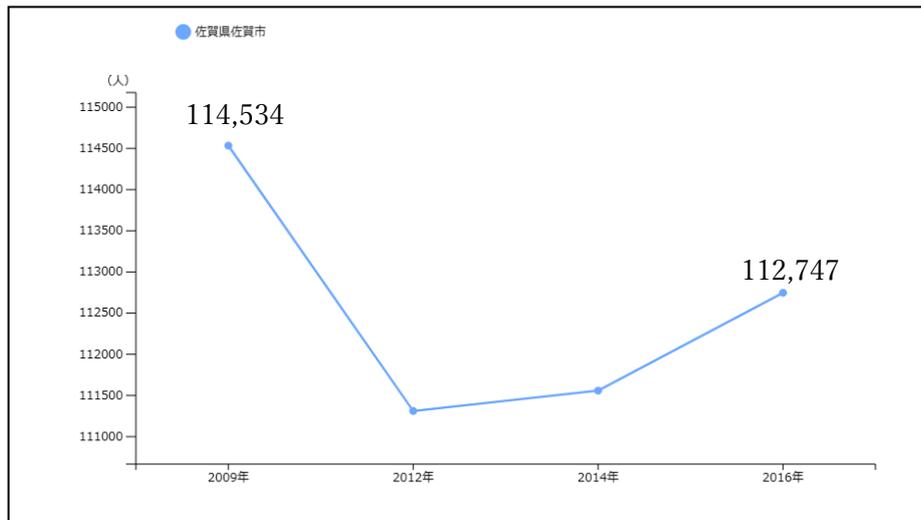
佐賀市内の従業者数



※RESAS 操作 産業構造マップ→全産業→全産業の構造

従業者数の推移をみると 7 年前の 2009 年 114,534 人と比較して 2016 年では 1.6%減となっています。

佐賀市の事業所数の推移

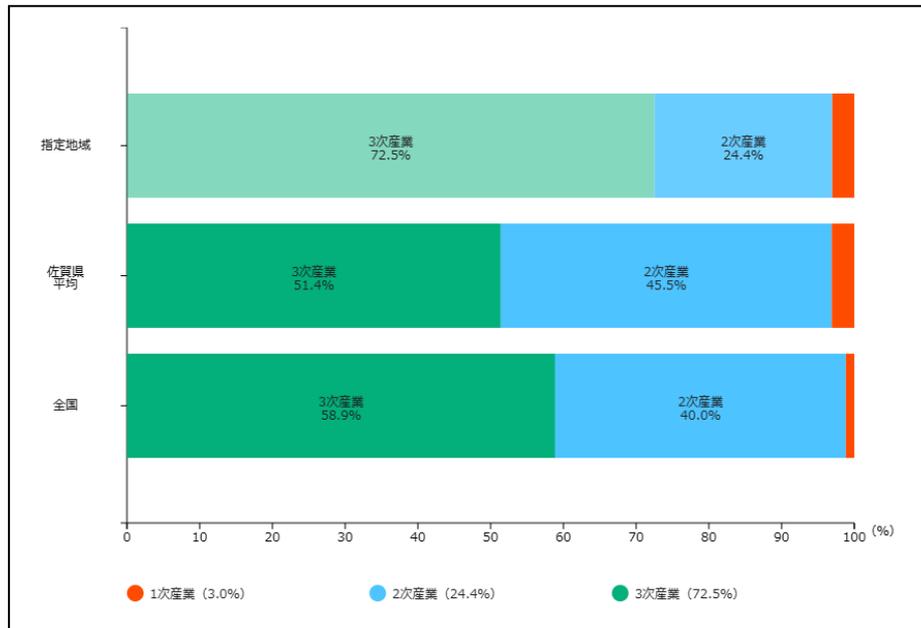


※RESAS 操作 産業構造マップ→全産業→従業者数(事業所単位)

(3) 地域内産業の構成割合

佐賀市の産業の構成割合を佐賀県、全国と比較したグラフである。佐賀市は3次産業の割合が72.5%であり、佐賀県の51.4%、全国の58.9%と比較して高い状況となっています。

佐賀市の産業の構成割合

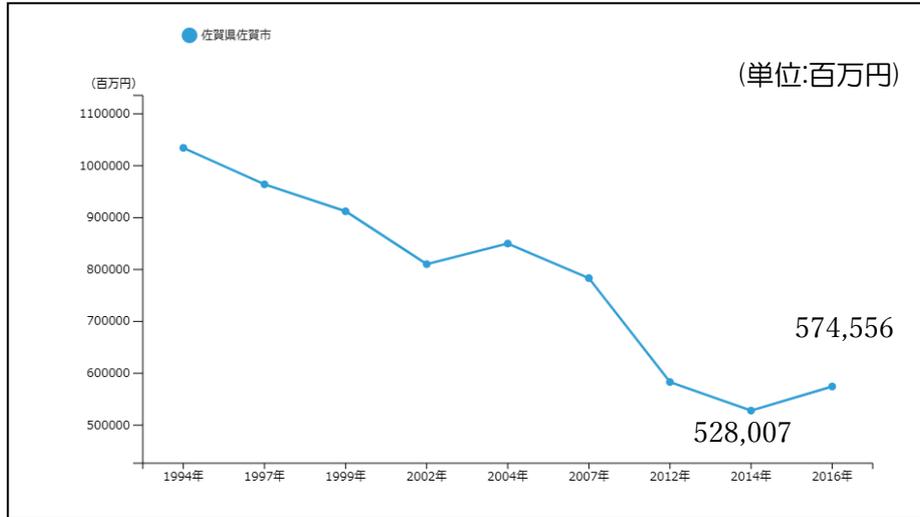


※RESAS 操作 地域経済循環マップ→生産分析

(4) 小売業・卸売業

小売業・卸売業の年間販売額は2016年で574,556百万円であり、2年前の2014年と比較すると8.8%の増加となっています。

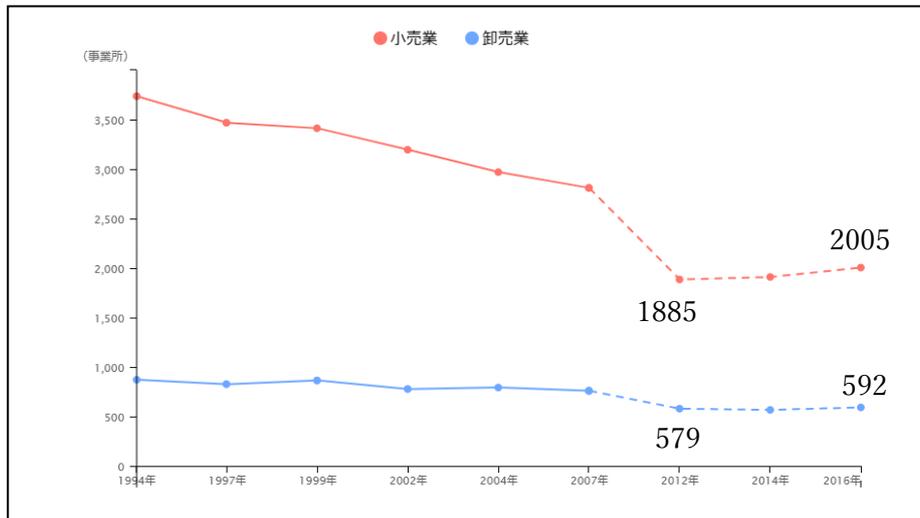
年間商品販売額の推移



※RESAS 操作 産業構造マップ→小売・卸売業→年間商品販売額

小売業・卸売業の事業所数は、2016年で小売業2,005事業所、卸売業592事業所である。2012年と比較すると、小売業は6.4%、卸売業は2.2%増となっている。

小売業・卸売業の事業所数の推移



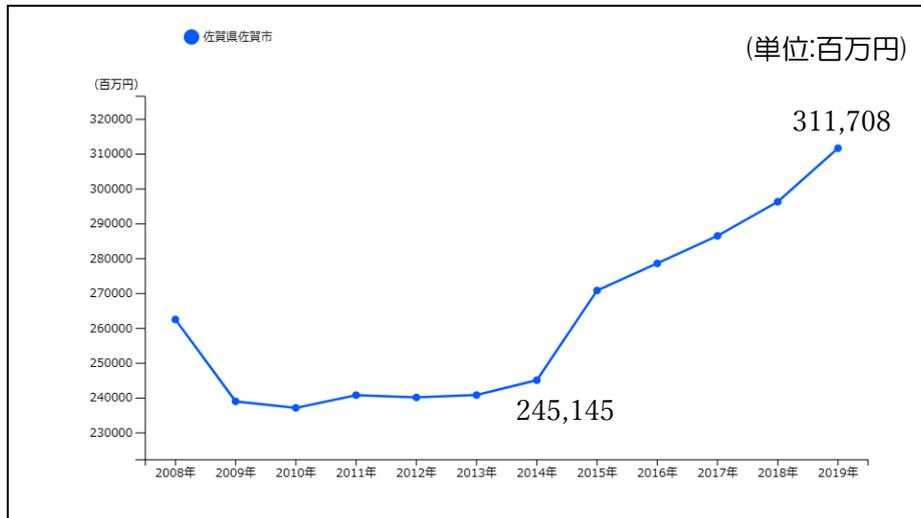
※RESAS 操作 産業構造マップ→小売・卸売業→商業の構造

※グラフ上の破線は日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサスー活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間の比較が行えないことを示しています。

(5) 製造業

製造業の製造品出荷額等は2019年で311,708百万円であり、5年前の2014年と比較すると27.2%の増加となっています。

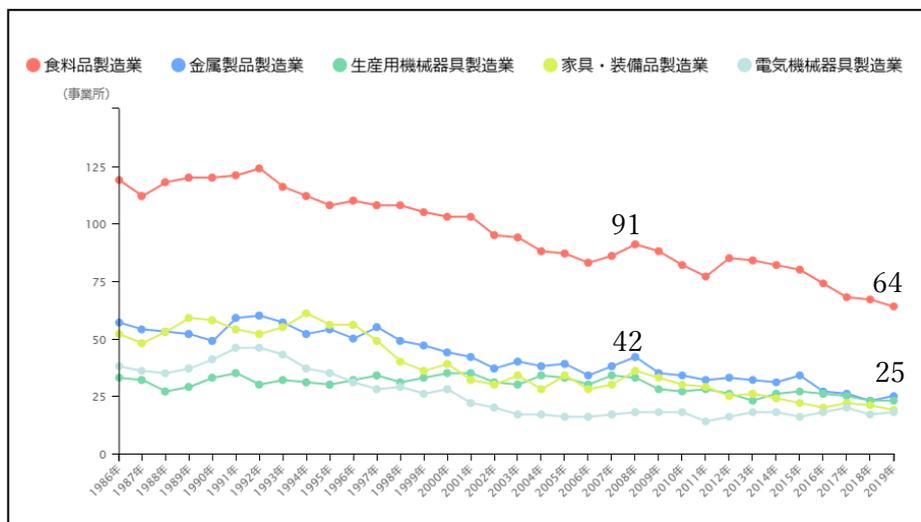
製造品出荷額等の推移



※RESAS 操作 産業構造マップ→製造業→製造品出荷額等

主要製造業では、「食料品製造業」、「金属製品製造業」が多くあります。2008年と比較して、ともに減少しています。

主要な製造業の事業所数の推移



※RESAS 操作 産業構造マップ→製造業→製造業の構造